

明るい未来を創る

鶴居村教育委員会教育長 村上明寛

この一年は、鶴居中学校の生徒の皆さんにとって、コロナ禍でたいへんな一年となってしまいました。休校や3密回避、マスク着用など多くの制約の中にあっても、皆さんは「できないことを嘆く」のではなく「できることを精一杯」やってくれました。「日常」の大切さにも改めて気づいてくれたことと思います。この経験は、先の見えない時代にあって、きっと皆さんの大きな力になるものと信じています。

ところで、ドラえもんの秘密道具があればいいなと思ったことはありませんか。人気ランキング1位は「どこでもドア」、2位は「タイムマシン」、3位は「タケコプター」だそうです。夢を叶えてくれる、便利な道具が人気のようです。

しかし、ドラえもん研究者の横山泰行氏（富山大学名誉教授）によると、のび太は、何もしないで秘密道具に頼っているわけではないそうです。どの作品でも、のび太は必ず自分で試行錯誤しながら問題に取り組んでいるそうです。のび太にとって秘密道具とは、あくまでも「自分のいいところ」を伸ばしたり、ちょっと足りない何かを後押ししてくれる「きっかけ」のような存在なのだそうです。

横山氏の著書『『のび太』という生き方』（2014年アスコム発行）では、のび太の行動や考え方から導いた34の「のび太メソッド」（うまくいくための法則）をまとめています。その一つを紹介します。

【のび太メソッド 22】

「ぼくだって」という気持ちが、明るい未来を創る

筆者によると「のび太は『ぼくだって』という悔しい思いをバネにしながら、身近な小さな夢から遠大な夢まで心に描いてチャレンジし続けています。いつも失敗の連続ですが、それでものび太の心からは、夢を描くエネルギーはなくなっていない」とのことです。

三年生の皆さんにとっては中学校生活の最後の一年、もっと勉強したかった、もっと部活で頑張りたいかったなど、不完全燃焼で悔しい思いをした場面がたくさんあったことでしょう。その悔しい思いをバネに、心に夢を描いて、高校生活やその先の社会生活にチャレンジしてください。

ウイズコロナ・ポストコロナ社会は「以前に戻る社会」ではなく「新しい社会」となるでしょう。でも不安も心配も要りません。皆さんには、鶴居村で培われた豊かな心、鶴居村で育まれた健やかな体、鶴居村で身に着けた確かな学びという大きな財産があります。

きっと明るい未来を創れます。